

下部内視鏡検査（大腸カメラ）の説明

《当日の持ち物》
診察券・保険証・
同意書・お薬手帳

【下部内視鏡検査の目的】

肛門から内視鏡を挿入し、大腸を直接観察することで、病気（炎症、ポリープ、腫瘍など）の診断や治療方針を決めるための検査です。

【検査の方法・手順】

1. ご自宅で、腸管洗浄薬（モビプレップ）を飲んでいただきます。
（通常 1.5～2ℓ 服用後に便がきれいになってきます）
2. 便がきれいになってからクリニックに来院していただきます。
3. 腸の動きを抑える注射や、必要時またはご希望により鎮静剤の注射をします。
4. ベッドに横になり、内視鏡を肛門から挿入します。（検査時間は通常 15 分～30 分程度）
5. 大腸の長さや走行は個人差があり、手術後、炎症の既往による腸管癒着などによっても腹部の膨満感やツッパリ感が異なります。内視鏡が進みやすいように体位変換や、助手が腹部を手で押さえて介助します。
6. 内視鏡が大腸の一番奥に到達したら、次にゆっくりと内視鏡を抜きながら観察を行います。その際、空気で腸管を膨らませて観察するため少しお腹が張ってきます。当院では、この膨満感を軽減するために室内空気に比べて粘膜から吸収されやすい「炭酸ガス送気装置」を使用しています。
7. 腸の状態、走行、便の残り具合などにより観察が十分にできない場合があります。その場合は、再検査あるいは他の検査が必要か相談させていただきます。
8. 検査でなんらかの病変が疑われた場合は組織を採取し検査します。（組織生検）
9. ポリープが認められた場合は、小さいものに関してはその場で切除を行うことができます。
但し、切除後の出血の危険性があるため、1 週間は運動・飲酒・旅行はできません。
ポリープ切除の費用は 2～3 万円（3 割負担の場合）です。
（当院は、カードでのお支払いは対応しておりません。）
10. 検査後はお腹が張った感じや軽い痛みを感じることがありますが、ガスが出れば楽になります。
11. 鎮静剤の効果が取れるまで回復室で休んでいただき、その後に検査結果をご説明いたします。
12. 飲水・食事は、お腹の張り感がなくなり、落ち着いたたら可能です。

【検査前日および当日の注意事項】

- ・ 前日は、早めに食事をすませ、夜 9 時以降は、水・お茶のみとし、飲酒はおやめください。
- ・ 当日は、起床時に水分をとるように心がけてください。（コップ 2～3 杯）
食事はできません。なお、喫煙も（腸の動きが悪くなるので）禁止です。
- ・ 必要な常用薬は、7 時ころまでに服用してください。
服用するべきお薬、お休みするお薬については、検査予約時に説明させていただきます。
特に血液を固まりにくくするお薬を服用している方は、組織検査（生検）ができない場合や、
中止してから再検査する場合がありますのでご了承ください。
- ・ インシュリンを使用している方は、打たずにご来院ください。
- ・ 鎮静剤を使用する場合は、車・自転車・バイクでの来院はおやめください。

- ・ お化粧品は控えめにし、マニキュア・ネイルアートは避けてお越してください。
- ・ 指輪・ネックレス・時計等の金属類は、あらかじめ検査前にお外してください。

【検査による偶発症】

- ・ スコープによる粘膜障害や裂傷・穿孔
- ・ 組織検査（生検）による出血
- ・ 前処置や検査中に使用する薬剤によるアレルギー・一時的な健忘などの副作用

【ポリープ切除による偶発症】

大腸穿孔（焼灼手術のため腸管に穴があく）、出血

《安全な検査ですが、万一、緊急事態が生じた場合は、責任を持って治療にあたります。》